

# 特定非営利活動法人フォロ

## 第 21 回通常総会

### 【議案書】

●開催日時：2022年6月12日(日)午前10時～（午後1時終了予定）

●会 場：フォロ

●議 題

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| 第1号議案 | 議長、議事録署名人の選任              |
| 第2号議案 | 2021年度事業報告、決算報告、監査報告と承認の件 |
| 第3号議案 | 2022年度事業計画、予算の承認の件        |

※議案書は、当日、ご持参ください。

特定非営利活動法人フォロ  
〒537-0025  
大阪市東成区中道 1-3-43  
tel 06-6720-8100  
fax 06-6720-8101  
E-mail: [info@foro.jp](mailto:info@foro.jp)  
URL: <http://www.foro.jp>

# 2021 年度事業報告書

特定非営利活動法人フォロ

## I 事業期間

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

## II 事業の成果

A. 当年度の特定非営利活動に関わる事業については、子どもを対象とした事業「フリースクール・フォロ」と、18 歳以上を対象とした事業「なるにわ」、「親のつながり」「相談事業」、「縁がわスペース事業」を行なった。

B. 当法人では、子ども・若者またその家族を否定するのではなく、当事者の側に立って活動を行なってきている。年間を通して、会員としてつながる家庭に加え、困難な状況や課題を抱える家庭の駆け込み寺のような役割を担ってきたと考えている。

## III 事業の実施状況

### 1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) フリースクール・フォロ  
(内 容) 不登校など、学校の外の子どもたちの居場所、学び場の運営  
(実施場所) フォロ  
(実施日時) 月・火・水・木・金の週 5 日曜日 原則 10 時～17 時  
(事業の対象者) フリースクール会員の子ども 通年で 20 人

(2) (事業名) 18 歳以上の居場所「なるにわ」  
(内 容) 生きづらさを抱える 18 歳以上の人対象の居場所の運営  
(実施場所) フォロ  
(実施日時) 土曜日 14 時～18 時 ほか  
(事業の対象者) 診断名などを問わず、18 歳以上の個人。常時 10 名前後がサロン、生きづらさからの当事者研究会などに参加。

(3) (事業名) 親のつながり、相談事業部  
(内 容) 不登校・引きこもりなどの子ども・若者をもつ家族会運営と個別支援等  
(実施場所) フォロ  
(実施日時) 親の会は第 3 水曜日、相談受付は随時  
(事業の対象者) おもに、生活に困難を持つ子ども・若者の家族

(4) (事業名) 縁がわスペース事業  
(内 容) フリースクールの一部で原則誰でも参加できるイベントの開催

(実施場所) フォロ

(実施日時) 随時

(事業の対象者) 不登校・ひきこもりの当事者や関係者、地域住民や市民など

#### IV NPO 会員総会の開催状況

##### 第20回通常総会

(日 時) 2021年6月13日 午後1時から4時

(場 所) フォロ

(社員総数) 18名

(出席者数) 12名 (うち委任状出席者4名)

(内 容) 2020年度事業報告と決算・監査報告、2021年度の事業計画と予算の承認、役員を選任。そのほか、今後の法人の展望を忌憚なく話し合った。

##### 書面決議

(総会の決議があったものとみなされた日) 2022年2月15日

(社員総数) 17名

(書面または電磁的記録により同意する旨の意思表示がなされたもの) 17名

(内 容) 主たる事務所を移転する必要があるため、定款第2条(事務所)の変更と、主たる事務所の移転時期を2022年2月18日とする。

#### V 理事会その他の役員会の開催状況

通常の理事会(月に1回)で日常の運営について討議した。その他の役員会は開催しなかった。

#### 2 収益事業は行わなかった

## 【NPO法人フォロ 2021 年度報告】

(文責：中嶋千賀、山下耕平)

### 1. 実施事業

- ・フリースクール事業
- ・18歳以上の居場所事業（なるにわ）
- ・親のつながり
- ・相談事業部
- ・縁がわスペース

※各事業の事業報告は別紙に。

ニューズレターは昨年度3回発行（7月、11月、3月）

### 2. NPO会員、支援会員、寄付の状況

NPO会員 17名、支援会員 74名、寄付者（団体）のべ件数約 300件

昨年度も、(特活) イエロー・エンジェル、(株) ブロードエンタープライズ、税理士法人キャスダック、愛知製鋼(株)「ボランティア基金」、イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」、中央区民生委員児童委員協議会「歳末たすけあい運動お見舞い金」など、大きなご支援をいただきました。また、昨年度の特筆事項としては、コロナ禍の影響もあり、法人運営が窮地に陥ったことから緊急カンパを募ったところ、209名の方から計394万円ものご寄付をいただきました。そのほか、支援会費、小口のカンパなど、多くのご支援があって、無事に移転でき、子どもたちの活動も継続させることができました。

### 3. 通学支援基金

2017年度下半期より開始した通学支援基金は、2021年度はフリースクール会員9名に月額5,000円もしくは1,000円ずつ配分しました。2021年度の通学支援基金への寄付額は計2万4千円だったため、基金が残りわずかとなりました。そのため、寄付金より30万円を通学支援基金に充てることとし、合計30万2千円を2022年度上半期に使えるようにしました。

### 4. 対外的な活動など

不登校、ひきこもりなどについて、下記団体などから講演や取材依頼等がありました。

- ・講演：みんなのオンライン職員室、解放同盟京都連合会、青空教育講演会、クレオ大阪南、お茶の間わいわい、子ども情報研究センター、こころの健康相談センター、よりそいネットおおさか、長崎県立大学、子どもと教育を守る高知県連絡会、大阪市地域こども支援ネットワーク事業シンポジウム、中央区地域福祉コーディネーター連絡会、中央区子どもサポートフォーラム
  - ・取材：朝日新聞、ボランティア・市民活動情報誌 COMVO
- ※新型コロナウイルス感染拡大にともない、キャンセルになった講演、企画が多くありました。

対外的にネットワーク等に参加しています。

- ・「ふりー！すくーりんぐ」加盟
- ・「大阪府フリースクール等ネットワーク」加盟
- ・「中央区子どもの居場所連絡会」登録
- ・東成区北中道地域活動協議会 町会参加
- ・森ノ宮地域活性化ネットワーク「もりのみやって」参加

など

## 5. 総括と課題

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、2020年度のフリースクール新規入会者が激減したことから、法人の財政状況が悪化したため、事業所の移転を執行しました。緊急カンパを募り、さいわいにも、多くの方にご支援いただいたことで、移転にともなう出費をふくめ財政的に乗り切ることができました。また、フリースクール事業の売上げも、移転による先の見通しの持てなさがあったにもかかわらず、2020年度に比べるとやや持ち直しました。これから先、新しい場所でどのような事業展開が可能であるかが、今後にかかわる大きな課題となっています。

## 6. 2021年度 助成金事業報告

### (1) 街づくり夢基金

#### 収入の部

科目	内 容	金 額
助成金	街づくり夢基金 (2021年4月16日入金)	100,000

#### 支出の部

科目	内 容	金 額
コーディネーター費	20,000円×3ヶ月 (2020年度分)	60,000
交通費	コーディネーター等交通費 (2020年度分)	20,000
通信費	Zoom 有料アカウント年間使用料 (2021年度分)	20,000
合 計		100,000

### (2) チャイルドライフサポートとくしま「子どもの笑顔はぐくみプログラム」

～学校に行かない子どもたちの居場所を絶やささない!～ (助成期間 2021年11月～2022年11月)

#### 収入の部

科目	内 容	金 額
助成金	子どもの笑顔はぐくみプログラム (2021年10月29日入金)	237,000

#### 支出の部 (経過報告 2022年3月末時点)

科目	申 請 内 容	決定金額	支出金額
旅費交通費	ボランティア交通費 1回 500円×20日×12ヶ月	120,000	28,000
消耗品費	A4 コピー用紙 3,300円×2回 A3 カラー用紙 2,800円×3回	15,000	7,632
消耗品費	インクカートリッジ 3,000円×2回	6,000	2,980
印刷製本費	活動報告印刷代 3,000円×3回	9,000	4,343
通信運搬費	郵便書簡 63円×300通×3回	56,000	25,200
通信運搬費	Zoom 有料アカウント年間使用料(2022年度分)	21,000	
保険料	塾保険 (損害保険、賠償責任保険)	7,000	
保険料	ボランティア保険 1人 300円×10人	3,000	4,500
合 計		237,000	72,655

2022年度 繰越金額	164,345
-------------	---------

(3) 赤い羽根共同募金「地域の子どもの福祉のための助成」

～不登校やひきこもりの子をもつ親のつながりと相談事業～ (助成期間 2021年4月～2022年3月)

収入の部

科目	内容	金額
助成金	地域の子どもの福祉のための助成 (2022年5月10日入金)	466,000
自己資金		190
合計		466,190

支出の部

科目	内容	金額
ファシリテーター人件費	親の会 @2,000円×2h×18回	72,000
相談員人件費	保護者の懇談、見学相談、親の面談 @3,000円×1.5h×55回	247,500
相談員人件費	親の相談窓口 電話相談 @3,000円×0.5h×36回	54,000
相談員交通費	1,060円×53回	56,180
相談員交通費	920円×12回	11,040
交通費	他機関との連携 460円×8回	3,680
印刷費	法人リーフレット 1,500部	6,855
印刷費	展示パネル 2枚	5,935
通信費	電話相談 携帯電話用プリペイドカード 3,000円×3回	9,000
合計		466,190

## 【NPO法人フォロ 2022年度事業計画】

### 1. 実施事業

- ・フリースクール事業
- ・18歳以上の居場所事業 (なるにわ)
- ・親のつながり
- ・相談事業部
- ・縁がわペース事業

※各事業の計画は別紙に。

### 2. NPO会員、支援会員、寄付について

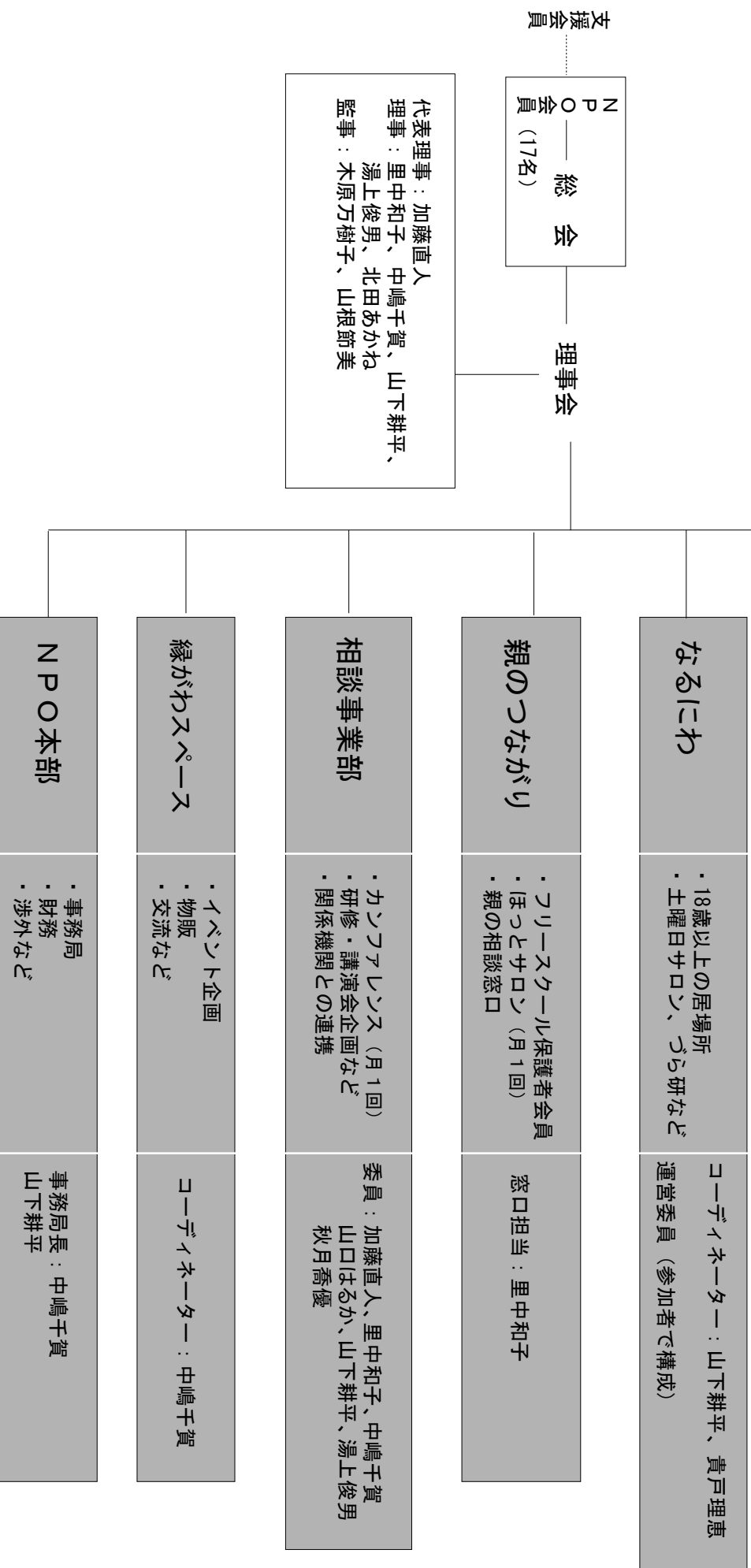
フォロは受益者負担の割合を低くすることを目指しており、ひきつづき寄付などで支えていただけるよう、お願いをしていきます。

### 3. 今後の見通し

緊急カンパのおかげで乗り切れたものの、決して経済的に安定している状況とはいえないため、たくさんの方にご支援いただいたことを支えに、今後の法人や事業のあり方を真摯に考えあい、運営や活動をおこなっていきたいと思います。

# NPO法人フオロ 事業全体図

2022年5月現在



## フリースクール事業 2021年度(2021・4月1日～2022・3月31日)

### 【会員の動向】

2021年度はコロナ下2年目の年度となり、新規問い合わせ→見学相談会→体験入会→本入会に至る流れに、2020年度とは大きく異なる動きが見られた。見学相談会などで聞く保護者の声には、「コロナ休校以降、家庭でも、開校してからの学校でも子どもにとってきつい状況が続く、不登校となったり、ストレスの高い状況が続いている。学校に行かなくても、勉強しなくても今はいいから、家族以外の人に出会ってほしい、楽しい経験をして、笑顔になってほしい。」という声が多く聞かれた。

2019年度(コロナ前)から2021年度にかけての、問い合わせから入会に至る人数を比較してみると、

- 2020年度はコロナ前の2019年度に比べて

「新規問い合わせ数」47%減、「見学相談会参加家庭数」58%減、「体験入会者数」60%減、「本入会者数」57%減であったが

- 2021年度は

コロナ初年度の2020年度に比べて

「新規問い合わせ数」40%増、「見学相談会参加家庭数」11%増、「体験入会者数」200%増、「本入会者数」166%増

2019年度(コロナ前)と比べて

「新規問い合わせ数」23%減、「見学相談会参加家庭数」53%減、「体験入会者数」20%増、「本入会者数」14%増と、体験入会者数と本入会者数はコロナ前を上回った。

退会については、本人の気持ちや家庭の状況などから退会した会員が2人と、1月の移転後に移転前に比べて間取りが狭くなったことになじめず退会したメンバーがいた。

- 以上から、2021年度末の在籍者数は2019年度比78%、2020年度比107%であった。

(詳細はグラフ参照)

### 【活動の様子】

#### ■クリエイティブの時間

2020年度から始めた「クリエイティブの時間(テレビゲームやゲーム動画以外の過ごし方をする時間=10:30～12:30)」を2021年度も継続した。子どもの遊びや活動、勉強などがどんどん画面の中に吸収されている昨今、クリエイティブの時間を設定した当初は、どうしたらいいかわからず途方に暮れたり、ゲームではない動画を見て過ごしたりすることが多かったが、スタッフから積極的に多様な過ごし方の提案、誘いかけ等続けた結果、最近ではスタッフが席を外していても自分達でルールを作って遊んだり、クリエイティブの時間が終わった午後にもリアルでの遊びを望む姿が見られるようになってきた。

マスク越しではあるが、お互いの顔を見ながら過ごす時間や、自分たちで遊びのルールに工夫を凝らす経験が、少しずつ増えてきている。

#### ■外出を含む多様な活動

コロナ感染には配慮しつつ、子ども達一人一人にとって一回限りの貴重な今における体験、経験が失われぬよう、外出を含む活動も積極的に行った。主だったものを挙げると、

- ネコカフェ、犬カフェなどの動物カフェや動物園
- 扇町公園での遊びや浜寺公園でのゴーカートなど
- 魚釣りや日帰りキャンプなどのアウトドア
- バドミントン、テニス、キャッチボール、スキーなどのスポーツ
- 店舗、イベント、外食系ではビリヤード、カードショップ巡り、木下サーカス、ココイチ、スイパラ、長崎ちゃんぽんなど
- 奈良公園、梅田散歩、初詣(上新庄)などの散策
- 地裁の傍聴にも複数回出かけた。

#### ■外部組織との関わり

- 京阪シティーモール共同展覧会での展示およびフリーペーパー「天満橋おさんぽの友」への掲載に向けて、2人のメンバーが絵を複数枚、制作した。
- 公益社団法人子ども情報研究センターから季刊誌「はらっば」12月号への投稿の依頼があり、1人のメンバーが4ページにわたる手記を書いた。

#### ■昼食・おやつ

- メンバーがスタッフと共に作る昼食企画として、「パンを電子レンジで作る」や、「釣った魚を食べる！」などを行った。
- おやつには、「カップケーキ」「パンケーキ」「フルーツパフェ」などを作った。
- また、ホテル「W Osaka」からシェフが出張体験教室を開いて下さり、巻き寿司や「白玉ぜんざいのアイスクリーム乗せ」の作り方を教えていただいた(「フリースクールはらいふ」も共同参加)。
- クリスマス会や他日2回に亘り、第一生命保険株式会社御堂筋オフィスの皆さんがボランティアで昼食を作って下さった。
- ほぼ毎週(月)、ボランティアさんやフォロの職員が作る「フォロのお昼ごはん」を提供した。



## ■教科学習・進学

- (火)(木)朝の「学習の時間」には、小中学生がそれぞれに今、自分が課題に感じている計算問題や書字などを行った。
- 春からオンライン大学に進学したメンバーが、時折フォロ内にて大学のオンライン授業を受けた。そのメンバーはITを活かした医療統計分野に進む希望があり、フリースクールにおいてもメンバーや大人向けに栄養学講座や免疫学講座を開いてくれた。
- 本年度末には高校を卒業するメンバーが専門学校へ、中学校を卒業するメンバーが通信制高校へそれぞれ進学した。

## ■移転

法人の移転に際しては、数か月に亘って複数の候補物件の検討と内覧を行い、多くのメンバーや保護者も参加した。その時その時、それぞれの物件やアクセスについての意見、あるいは不安なども聞かせてもらった。また、移転先が決まってからはメンバーもそれぞれの年齢、得手不得手に応じて準備作業をスタッフとともにいった。

1月末には移転を行ったが、その物件は住居であるため、移転前のワンフロアオフィス型より一部屋ごとの間取りが小さくなった。メンバーからは「おばあちゃんの家みたいで落ち着く」といった意見が出たり、同じ遊びに参加していないスタッフもメンバーの近くに居ても不自然ではないなどのメリットが感じられた。方や「空間が狭くてしんどい」と退会したメンバーがいたことは残念であり、他のメンバーの中にも特に高等部において「人との距離が取りづらい」との気持ちを伝えてくれることがあった。そうした感覚を秘匿せずに伝えてくれたことは感謝しなければならず、実際に通えなくなったメンバー、それでも通い続けてくれているメンバーの気持ちと共に重く受け止めた。

## ■総括

本年度、夏から検討を始めた法人の移転はそれを行った1月末を越えて年度末までフリースクールの日常にも大きな影響を与えた。そうした中でも上に挙げたような多様な活動を行い得たのは、経営上、どうしても移転が必要という差し迫った実情において、メンバーとスタッフ相互が人と人同士としてカバーし合い、協力できた結果と言える。

厳しい日常であったが、得たものも大きかった。

## 【家庭や他機関との関係】→「相談事業部」及び「親のつながり」の章参照

## 【割引制度の利用状況】

- 通学支援基金割引:8家庭9名
- 6ヶ月割引:2家庭
- 大阪市塾代助成:3家庭4名(全員が通学支援基金割引を併用)

## 【OB/OG】

卒業生が集まりやすい「フォロ祭り」は本年度もコロナ感染予防の観点から実施できなかったが、6月にOB・OGウィークを開催、4名の卒業生が参加した。

また、OB・OGウィークではない期間に顔を見せた卒業生が二人いた。どちらもスタッフやボランティアに、職場についての悩みを話した。

## 【ボランティア】

大学生から社会人まで、短期間も含めると16名のボランティアさんや実習生にフリースクールの活動を支えていただいた。大学からの実習生3名全員が、その後もボランティアとして支え続けて下さったことも嬉しいことであった。

上とは別で、第一生命保険株式会社御堂筋オフィスから約14名の方々がボランティアとして参加、子どもと過ごすこと以外でも、ニューズレターの発送作業や食事作り、移転にまつわる作業まで大きく助けていただいた。

以上

文責(秋月喬優・山口はるか・湯上俊男)

## 【2022年度の課題と計画】

- 会員の動向で見たように、フリースクール・フォロへの問い合わせや入会者数はコロナ前を超えている。方や、フリースクールにおける学び、育ちという視野をフォロから伝えきれていない面もある。長年在籍したメンバーが自分の変化を言葉にしてくれたように、長期にわたる育ちのイメージを持ってもらえるよう、伝えていく努力が必要である。
- 今の時代に育つ子ども達の間で、人との繋がりやいろいろな経験をリアルに行う機会が減少していることを鑑み、2022年度は前年度にも増して、スタッフやボランティアといった大人から様々な活動の提案、働きかけを行い、リアルとネット空間の双方で、バランスの取れた活動を目指す。
- 新しい物件のメリットは最大限に活かしつつ、そこだけでは充足できない活動性やニーズにも外的資源を活用するなどして応えていく。

以上

文責(秋月喬優・山口はるか・湯上俊男)

【フリースクール会員の動向】

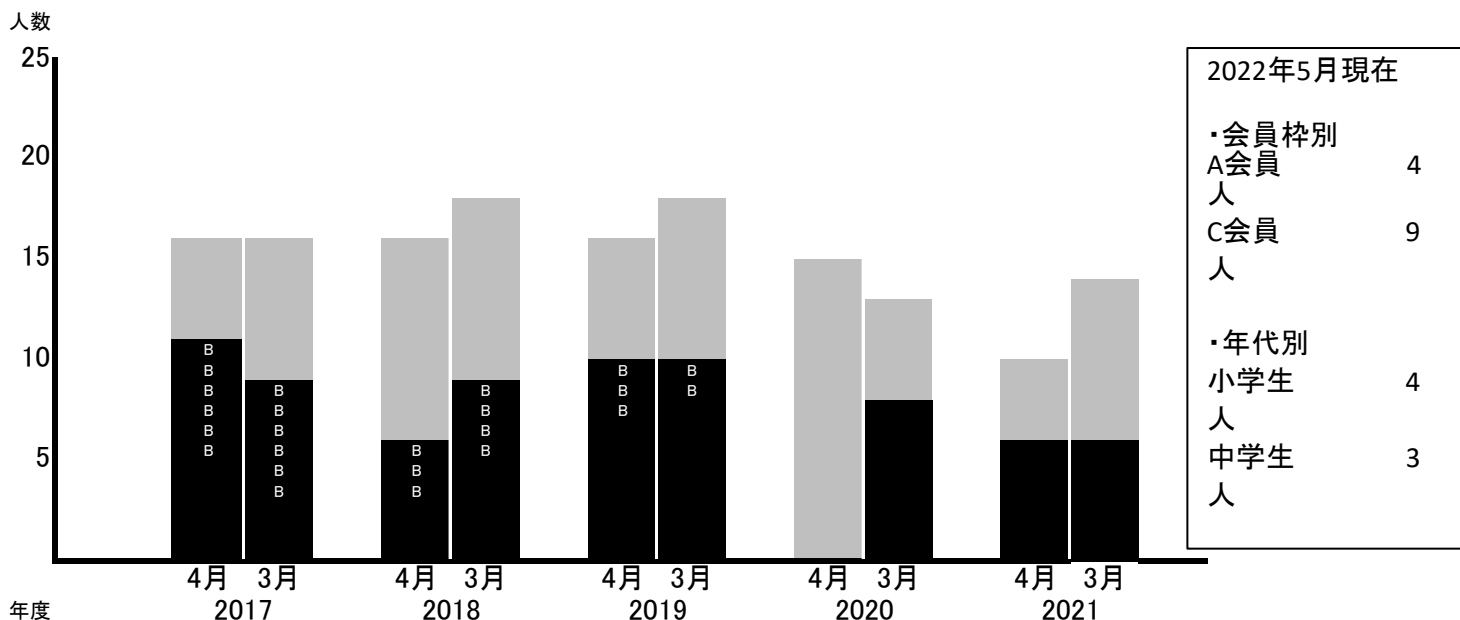
■■■■ A会員

■ B ■■■ B会員

■■■■ C会員

会員No.	生年月	性別	2020年度 3月以前		2021年度 (R.3)												2022年度 (R.4)	2022年 4月時点	
			退会	入会	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4		
215	2014.03	女																C	小3
214	2010.11	女																C	小6
213	2010.12	女																	
212	2007.11	女																	
211	2009.09	男																	
210	2015.01	男																C	小2
209	2006.07	女																C	高1
208	2008.04	女																	
207	2007.06	男																	
206	2002.06	男																	
205	2011.03	男																	
204	2009.05	男																	
203	2003.11	男																	
201	2007.10	男																C	中3
198	2008.08	女																	
197	2010.05	男																C	小6
196	2009.10	男																A	中1
194	2005.05	女		B														A	高2
192	2003.12	女																C	大1
184	2008.06	男																A	中2
182	2005.02	男																C	高3
178	2001.05	男																	
170	2003.01	男																	
166	2006.05	男																A	高1
149	2004.06	男		B														C	高3
124	2001.06	男																	

【各年度始末毎の会員数】



## 【親のつながり】

### <2021年度の事業報告>

#### (1)ほっとサロン

コロナ禍で集まりにくい状況があるので、zoom、リアル、zoomをつなぎながらリアルの参加者と一緒に話し合うという3パターンで開催した。開催できなかったのは、夜のサロン1回のみだった。参加人数は、昼は1回5~9人、のべ76人(前年度は53人)とかなり増加した。夜は1回2~4人、のべ14人(前年11人)だった。新しい参加者は5人。Zoomではその場の雰囲気を共有するのが難しい面があるが、慣れてきたこともあって、これまでは参加しにくかった、遠方や家を出にくい状況の方が参加され、延べ人数が増えた。子どもの年齢は、小中学生より高校生以上の子どもの親がやや多いが、小中学生の親の参加や、継続して参加される方も少し増えてきている。

話題としては、子どもとの暮らし方の工夫や距離感、学校や仕事との付き合い方、社会保障のこと、コロナの状況と受けた影響、ワクチンのこと、親自身の気分転換や楽しみ方、体調や気分の変化、感覚過敏、医療機関や支援機関との付き合い方やつながり方、子どもの父親との関係などがあり、不安に思ったことを出し合い、いろんな人の意見を聞くことで、一人ではないと感じられたり、ほっと一息ついたりできるという声もあった。

これまで中心メンバー(スラックメンバー)で、運営について話し合ってきたが、コロナの影響と個々の事情もあって、フォローに来ることができる人がほとんどいなくなった。メールだけのやりとりでは意思疎通が難しく、コミュニケーションをどのようにとっていくかが課題である。

年3回のニューズレターの発送作業は、ほっとサロンからの参加者は少なく、第一生命保険株式会社御堂筋オフィスから来てくださったボランティアによって、作業を遂行することができた。

#### (2)メルマガ

フォローと関わりのあった方などに、ほっとサロンや学習会、フリースクールからのお知らせ、縁がわスペースの企画のお知らせを12回、変更のお知らせのための臨時号を2回、334家庭(前年度は320家庭)に発信した。登録数は増加した。

#### (3)問い合わせ、見学相談会、体験入会

フリースクールの報告にもあったように、件数としては、昨年度より増加した。

- ・保護者からのフォローへの問い合わせは35件(前年度25件)
- ・見学相談会への参加は21家庭(前年度18家庭)、うち個別対応は13家庭(前年度14家庭)
- ・体験入会は11名(前年度4名)、入会は8名(前年度3名)

親のニーズとしては、子どもが安心して過ごせる居場所があればいい、親以外の人と出会える場所がほしい、子どものペースで関わられる所がほしい、子どもの好きなことにつきあってくれる人と出会いたいなどが多かった。小学生の子どもの保護者からの問い合わせの割合は増えている(問い合わせ15件、見学相談会参加13件)。

#### (4)フリースクール会員の保護者とのつながり

##### A 個人懇談

体験入会時、体験終了時、定期、退会時に、スタッフと親担当で29回(去年度は42回)実施した。フリースクール会員の親とスタッフは、ラインでやり取りするようになり、スケジュールなどの連絡とともに、少し気になることなどはラインでも相談できるようになった。親の仕事が忙しくて時間が取りにくいこともあって、懇談の回数としては少なかった。引っ越し前は、子どもが在室時には喫茶店などで行っていたが、懇談しやすいスペースが確保できた。

##### B 保護者とのつながり

毎年10月と3月に保護者のつどい親フォローかぴばらを開催してきたが、コロナの感染状況から集まることが難しく、引っ越し後もスペースの確保が難しいこともあって、開催しなかった。これまでも参加人数が少なかったが、今後どのような形で実施するのが課題である。

運営の逼迫を呼びかけたところ、50人を越える保護者、OBOGの保護者より緊急カンパをいただいた。引っ越しに際しても、情報を寄せてくださったり、引っ越し作業に協力してくださった方もおられた。

## **(5)親の相談窓口・面談**

面談は1回(前年度3回)実施。対面での面談が実施しにくい状況なので、初めてでなければ zoom で面談できると広報したが、1件のみだった。一方で電話の利用回数は76回(前年度74回)と去年に引き続き多かった。面談には至らない短時間の相談は36件(前年度41件)だった。定期的にかけてこられる利用者もあり、気持ちが揺れたり迷ったりする時に話を聞いてもらう事で少し落ち着くことができるという声もある。定期的に電話相談を利用し、その後ほっとサロンに参加するようになったケースもあった。

## **(6)学習会**

4月11日に精神保健福祉士・社会福祉士である望来のりこさんを講師に迎え「トラウマについて知ろう」というテーマで学習会を開催した。

## **<2022年度の事業計画>**

### **(1) ほっとサロン**

遠方であったり、家を出にくい方にはニーズがあるので、zoomも設定しながら、フォローに來られた方と一緒に話せる場を継続する。継続して参加されている方には、一緒に活動を企画したり、運営にも協力してもらい、受け身だけではない、親が安心して話せる場の維持ができるよう、共に考え合える工夫をしていく。スラックメンバーが一同に会して話し合うことが難しい状況なので、コミュニケーションの取り方をさまざまに工夫し、メンバーの意思を確かめながら、役割分担し進めていく。

### **(2)メルマガ**

ほっとサロンや縁がわスペースの企画の案内など継続して発信する。サロンでの話題を掲載するなどして、どういう雰囲気で開催しているかが伝わるような工夫をする。引き続き Facebook でも広報を続ける。

### **(3)問い合わせ、見学相談会、体験入会**

親の仕事が忙しく、平日に見学相談が出来ない家庭も増えてきている。担当者の負担になりすぎない程度で、日祝日にも対応する。親子会員という新しい制度を導入したが、まだ利用者はいない。企画のみの参加にニーズがある場合には、退会してしまうのではなく、つながりが少しでも継続して持てるように工夫していく。

### **(4)フリースクール会員の保護者とのつながり**

体験入会時、終了時、定期、退会時の懇談を継続するが、状況により、電話、Zoomなどでも対応し、子どもと親の状況把握に努め、スタッフと協議して適切な対応につなげる。引っ越し後、面談するスペースができたことで、子どもがいる時間帯もフォローで懇談がしやすい状況がある。懇談と設定していなくても、お迎えの時など、少し話したいと思う時には対応していく。

親フォローかぴばらは10月、3月に開催する予定ではあるが、コロナの状況をみながら、場所の確保を検討し、開催を模索する。

## **(5)親の相談窓口・面談**

引き続き、電話での短時間の相談や問い合わせに対応する。面談は Zoom も利用して継続していく。

## **(6)学習会**

親のニーズに合わせた企画、学習会、お出かけなどの開催を検討する。

(文責：里中和子)

## 【相談事業部】

### <2021 年度事業報告>

#### (1)カンファレンス・研修など

個別面談の件数も少なく、検討を必要とするケースがなかったこともあり、カンファレンスは開催しなかった。また、運営がひっ迫し、21 年度中に家賃の低い物件に引っ越す必要があったので、運営についての会議が優先され、引っ越しに伴う業務の増加により、研修の回数は少なかった。

それぞれの担当者や相談事業部メンバーの事情にも十分配慮した、負担を軽減できるようなカンファレンス、研修にしていくのが課題である。

研修は以下の 4 回実施した。

4 月 30 日 スタッフの仕事とは

9 月 22 日 ボランティア研修「ボランティアやスタッフの仕事について」

10 月 1 日 スタッフの行動指針(ガイドライン)作成

12 月 24 日 対話の工夫について(オープンダイアログ、リフレクティングを参考に)

#### (2)スタッフとの合同ミーティング

月に 1 回、子どもや親の状況の情報交換、懇談の設定、地域の活動への参加などを話し合った。

#### (3)学校、他機関との連携

家族や本人の希望による、学校へのフォローに出席した日数の報告は、数件行った。学校にとっては、不登校であってもフリースクールに行っているという安心感につながっている。が、出席数が減ってくると、学校から家族や本人にどのように過ごしているのかと問われる場合もあった。また、高校進学に伴い、進学先より出席日の報告を要望されたケースもあった。

他機関との連携については、法人全体の事業報告の 4、対外的な活動など や縁がわスペース事業に記述があるが、ここではそれ以外の内容を記載する。

- ・2 月 21 日に積水ハウス株式会社・ダイバーシティ推進部より、育児休業や介護休業制度に当てはまらない、不登校の子どもへのサポートが必要な場合の親の休業制度導入にあたって、実情を知りたいと、リモートでのヒアリングあった。
- ・例年通り、大阪市のこころの健康センター担当者の訪問があった。
- ・問い合わせや見学相談に来られる際、以下の機関から紹介されるケースがあった。これらの機関と今後どのように連携していくかが課題である。

ヒカリドリ相談支援(東成区放課後デイサービス)、フリースクールみなも、子ども自立アシスト事業(天王寺区)、YMCA 学院、子育て相談室(東住吉区)

### <2022 年度の事業計画>

#### (1)相談事業の見直しと再構築

それぞれの担当者が安心感を持って業務に当たれたり、円滑なコミュニケーションが取れて必要な情報共有ができるよう、カンファレンス・合同ミーティング・研修を開催する。

今後の相談事業の展開について、運営全体の方向性も見据えながら検討を重ねていく。

#### (2)外部機関との連携の強化

学校、地域の公的機関やネットワークなどとの連携を広げていく。

これまで作ってきたネットワークも継続し、引っ越しにより新たな地域とのつながりを模索しながら連携を強化していく。

(文責：相談事業部)

## 【なるにわ（18歳以上の居場所）2021年度 事業報告】

文責：山下耕平、貴戸理恵

### 1. 概況

「なるにわ」は、18歳以上を対象とした居場所の活動で、毎週土曜日にサロンを開くことを活動のベースにしているが、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、サロンを閉室せざるを得ないこともあった。また、コロナ禍前まではサロンの軸であった夕飯づくりは、昨年度もほとんどできず、時間を14時～18時としてサロンを開催した。ただ、短時間でのサロンも、それなりに定着してきた感はある。また、1月末に移転し、空間が狭くなったぶん、参加者の人数が増えたときには、部屋を分けるなど工夫が必要となっている。

### 2. 活動体制

コーディネーターは、山下耕平と貴戸理恵で、土曜日のサロンや全体のコーディネートは山下が、づら研は両者が担い、必要に応じて連絡・相談した。また、参加者から運営委員を募り、運営に必要なことは、コーディネーターを含む運営委員で相談して決めた。

家賃負担については、コロナ禍前のように月額で固定はなく、サロン開催日につき支払うかたちで了解いただいた。

### 3. 活動内容

#### （1）土曜サロン

毎回、4～5名程度、多いときは10人前後の参加があった。新しい参加者も増えており、年齢層も広がっている。ご飯づくりができないので、ふだんは、お茶とお菓子で、おしゃべりをしている。2回ほど、「ぷち哲の庭」という時間を持ち、マイクロアグレッションについて、中島浩籌さんの著書『不登校は心の問題なのか』についての学習会などをした。参加者の背景はそれぞれで、それゆえの難しさもあるが、特定の属性などに限定しない居場所として機能しているように思う。

#### （2）づら研

2011年度より開いている、生きづらさからの当事者研究会、通称「づら研」。月1回開催している。毎回10名前後の参加があった。新しい参加者も毎回あり、年代や立場もさまざまである。昨年度のテーマは、当事者その後、仕事と自分、暮らしをすること、助けてが言いにくい問題、力関係、空気を読んでしまう問題、タタリガミにならないためには、対話のあり方について、渦中その後について、など。

コロナの感染拡大時には、オンラインで開催した（3回）。オンラインの際は、島根県、神奈川県、福岡県などからの参加者もあった。また、他の当事者会とのオンラインのコラボ企画で、会のあり方について話し合う機会もあった。

#### （3）ハジコミ

2021年度から始めた、端と端をわたす橋になるような対話のプロジェクト。社会のハジっこに追いやられている問題をテーマとした学習会、インタビュー、座談会などを実施し、その内容は、記事としてネットで公開していく。ひとつの当事者性に限定せず、さまざまな

文脈がクロスところの対話を大事にすることで、ひとつの当事者性からだけでは見えてこないものが見えてくるのではないかと考えている。

昨年度に公開した記事は、「あらためて「当事者」について考える」（貴戸理恵×山下耕平対談）、「わかりやすい当事者、ではないところから」（吉野鞆さんインタビュー）の2本。

### 3. 総括

なるにわは、支援—被支援という関係ではなく、当事者が自分たちでつくる場として開いている。さまざまな年代、立場の人が参加しており、文字通り「庭」として機能している。いろいろ難しさはあるが、今後も試行錯誤しながら、参加者が互助的に支え合う場であることを大事にしていきたいと思っている。

#### 【18歳以上の居場所事業（なるにわ）2022年度 事業計画】

・土曜日のサロンは、時間を短縮して、14時～18時で開く予定。ご飯づくりは、夕飯ではなく、お昼ご飯としての再開を試み始めている。また、家賃など経費が節減できたこと、参加者の経済的状況が厳しくなっていることなどから、参加費を500円から300円に値下げした。

・づら研は、従来どおり月1回の開催予定。同じく参加費を500円から300円に値下げした。夏ごろに、づら研の活動をベースとした内容の書籍を貴戸理恵が刊行予定。

・「ハジコミ」は、新しい参加者をまじえながら、オンラインを活用して、地域を越えて活動している。取材だけではなく、事前学習会を含めて、ていねいに進めていきたいと思っている。

## 縁がわスペース事業 2021 年度 事業報告

コロナ禍の状況を踏まえ、縁がわスペースでのイベント等の実施を、今年度は原則休止した。縁がわスペースの活動をおこなう中で果たしてきた、外部との窓口的な機能は、そのままコーディネーターであった中嶋が担い、フリースクールの活動の幅を広げるという形で活かした。

### 1. 実施内容 のべ 100 名程度参加

- ・毎月第3水曜日、隔月第1金曜日 ほっとサロン(親の会)
- ・毎月1回木曜日 フリースクール見学相談会
- ・7月12日 はじめての「NVC」体験会
- ・7月23日 みやすけのタロット屋さん&まるっと肩もみ屋さん
- ・8月25日 みやすけのタロット屋さん&まるっと肩もみ屋さん
- ・9月8日 みやすけのタロット屋さん&まるっと肩もみ屋さん
- ・9月13日 はじめての「NVC」体験会
- ・11月29日 はじめての「NVC」体験会
- ・12月20日 はじめての「NVC」体験会
- ・2月28日 はじめての「NVC」体験会
- ・3月26日 えんげきほいくえん準備会

### 2. 地域との連携

- ・中央区子どもの居場所連絡会への参加
- ・中央区こどもサポートネット事業への参加
- ・「中央区ネグレクト児童等への寄り添いサポート事業」通称「中央区こどもケア」事業連携
- ・東成区北中道地域活動協議会 町会参加
- ・森ノ宮地域活性化ネットワーク「もりのみやって」参加

### 3. 報告事項

- (1) 「街づくり夢基金」の入金があり、2020年度のコーディネーター費とコーディネーター交通費、2021年度のZoom有料アカウント使用料に充てることができた。
- (2) 中央区子どもの居場所連絡会で出会った、「中央区こどもケア」事業を受託している「Minami こども教室」と事業連携をおこなった。内容は、ネグレクト被害の予防と早期発見のため、中央区在住の子どもや保護者にむけた相談・支援活動。2月6日には子育て相談会が開催され、スタッフとして参加した。
- (3) 中央区子どもの居場所連絡会で、10月7日と12月11日に北御堂フードパントリーが実施され、ボランティアとして参加した。10月7日には、なるにわからも1名ボランティアに参加された。それぞれ、488名と849名の方に食料配布をおこなった。
- (4) 10月18日に、ホテル「W Osaka」のシェフが巻き寿司と白玉ぜんざいの料理教室を開催してくださった。近隣のフリースクールにも呼びかけ、高槻からフリースクールはらいふのメンバーが参加してくれた。
- (5) 12月10日~12日、京阪シティモールで開催された天満橋おさんぽマーケットに参加させてもらい、フリースクールメンバーのイラスト展をおこなった。
- (6) 11月と12月に、第一生命保険株式会社御堂筋オフィスの方14名にボランティアに来ていただき、ニューズレターの発送作業や引越作業、お昼ごはんづくりなどをお手伝いいただいた。



- (7) 大阪市地域こども支援ネットワーク事業シンポジウム「こどものSOSを大切にするために ～不登校について知ろう！わかって！考えよう！～」動画配信、パネルディスカッションにパネリストとして登壇。
- (8) 中央区地域福祉コーディネーター連絡会の研修に、講師として登壇した。
- (9) 第2回中央区子どもサポートフォーラムへ参加し、パネルディスカッションや各居場所の紹介動画を配信した。

### **縁がわスペース事業 2022年度 事業計画**

移転にともない事業所の床面積が狭くなったことで、物理的に縁がわスペースという場をもうけられなくなった。しかし、この活動をおこなう中で果たしてきた外部との窓口的な機能は、移転後も地域などとのつながりを作っていくうえで重要になると考える。縁がわスペースのコーディネーターであった中嶋が、法人やフリースクールの活動の幅を広げるべく、今年度も引き続き渉外的な役割を担っていく。これまで縁がわスペースで実施されていたイベントについて、引き続き利用希望がある場合は、貸室として整理する。今後の長期的な事業展開については、追って整理していく。

(文責：中嶋千賀)

特定非営利活動法人フォロ第21期 損益計算書

2021/4/1～2022/3/31

	合計	フリースクール+相談	なるにわ	NPO本部
<b>売上高</b>	<b>4,447,685</b>	<b>4,207,800</b>	<b>239,885</b>	<b>0</b>
<b>販管費</b>	<b>9,378,717</b>	<b>8,868,787</b>	<b>197,580</b>	<b>312,350</b>
役員報酬	0	0		0
給与手当	4,564,089	4,444,089		120,000
雑給	823,125	683,125		140,000
法定福利費	256,229	256,229		0
外注加工費	4,355	4,355		0
荷造発送費	213,350	213,350		0
会議費	0	0		0
旅費交通費	321,750	281,170	40,580	0
通信費	140,152	121,252		18,900
消耗品費	7,840	7,840		0
事務用品費	5,434	5,434		0
修繕費	213,461	213,461		0
水道光熱費	141,865	141,865		0
新聞図書費	0	0		0
諸会費	27,600	0		27,600
支払手数料	123,517	123,517		0
支払保険料	34,140	34,140		0
寄付金	0	0		0
交際費	11,340	11,340		0
支払報酬	0	0		0
地代家賃	2,484,400	2,327,400	157,000	0
賃借料	0	0		0
租税公課	5,850	0		5,850
雑費	220	220		0
<b>営業利益</b>	<b>-4,931,032</b>	<b>-4,660,987</b>	<b>42,305</b>	<b>-312,350</b>
NPO会費	180,000	0		180,000
支援会費	238,709	0		238,709
受取利息	25	22	3	0
雑収入	227,588	227,588		0
寄付金	5,375,102	5,258,742	116,360	0
相談窓口開設維持費	430,180	0		430,180
<b>営業外収益</b>	<b>6,451,604</b>	<b>5,486,352</b>	<b>116,363</b>	<b>848,889</b>
助成事業費	0	0		0
助成事業自己負担金	0	0		0
雑損失	0	0		0
<b>営業外費用</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
税引前損益	1,520,572	825,365	158,668	536,539
法人税等	0	0	0	0
<b>当期利益</b>	<b>1,520,572</b>	<b>825,365</b>	<b>158,668</b>	<b>536,539</b>
前繰越利益	-7,966,085	-7,098,764	-1,625,533	758,212
<b>未処分利益</b>	<b>-6,445,513</b>	<b>-6,273,399</b>	<b>-1,466,865</b>	<b>1,294,751</b>

特定非営利活動法人フォロ第21期 貸借対照表

2021/4/1～2022/3/31

	合計	フリースクール	なるにわ
<b>流動資産</b>	<b>5,982,447</b>	<b>5,449,312</b>	<b>533,135</b>
100 現金	123,569	109,947	13,622
115 普通預金	5,858,878	5,339,365	519,513
141 売掛金	0	0	0
171 立替金	0	0	0
172 未収入金	0	0	0
175 前払費用	0	0	0
176 仮払金	0	0	0
180 仮払消費税	0	0	0
<b>固定資産</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
205 工器具備品	0	0	0
219 償却累計額	0	0	0
220 電話加入権	0	0	0
241 出資金	0	0	0
243 保証金	0	0	0
260 開業費	0	0	0
263 繰延資産	0	0	0
<b>資産合計</b>	<b>5,982,447</b>	<b>5,449,312</b>	<b>533,135</b>
			*
405 買掛金	0	0	0
410 短期借入金	0	0	0
420 未払金	265,000	265,000	0
423 未払税金	0	0	0
424 未払費用	0	0	0
426 預り金	0	0	0
427 仮受金	538,960	538,960	0
428 前受金	122,800	122,800	0
440 消費税準備	0	0	0
450 賞与引当金	0	0	0
470 長期借入金	0	0	0
<b>負債合計</b>	<b>926,760</b>	<b>926,760</b>	<b>0</b>
550 フォロ基金	11,501,200	9,501,200	2,000,000
598 前期末処分	-7,966,085	-6,340,552	-1,625,533
599 当期末処分	1,520,572	1,361,904	158,668
<b>剰余金・資本合計</b>	<b>5,055,687</b>	<b>4,522,552</b>	<b>533,135</b>
<b>資本負債合計</b>	<b>5,982,447</b>	<b>5,449,312</b>	<b>533,135</b>
			*

※フリースクールの部門に、NPO本部、相談事業を含む。

## 2021年度 予算の執行状況

収入	2021予算	決算	執行率	昨年度決算	昨年度比
NPO入会金	10,000	10,000	100.0%	10,000	100%
NPO年会費	180,000	170,000	94.4%	170,000	100%
支援会費	350,000	238,709	68.2%	322,000	74%
寄付金等	1,700,000	5,602,715	329.6%	1,633,534	343%
相談窓口開設維持費	400,000	430,180	107.5%	-	-
コロナ関連補助金*	0	0		3,445,000	0%
フリースクール事業	3,900,800	4,207,800	107.9%	3,873,660	109%
なるにわ事業	200,000	356,248	178.1%*	202,102	176%
<b>当期収入合計</b>	<b>6,740,800</b>	<b>11,015,652</b>	<b>163.4%</b>	<b>9,656,296</b>	<b>114%</b>
<b>当期支出合計</b>	<b>8,625,000</b>	<b>9,378,717</b>	<b>108.7%</b>	<b>8,809,080</b>	<b>106%</b>

フ+相談+NPO本部支出	2021予算	決算	執行率	昨年度決算	昨年度比
人件費	5,040,000	5,643,443	112.0%	5,234,000	108%
通信費	150,000	140,152	93.4%	139,044	101%
旅費交通費	600,000	281,170	46.9%	230,860	122%
地代家賃	1,800,000	2,327,400	129.3%	2,815,000	83%
水道光熱費	150,000	141,865	94.6%	156,089	91%
その他販管費	185,000	62,639	33.9%	162,977	38%
移転費用	500,000	584,468	116.9%	-	-
<b>当期支出合計</b>	<b>8,425,000</b>	<b>9,181,137</b>	<b>109.0%</b>	<b>8,737,970</b>	<b>105%</b>
<b>当期収支差額</b>	<b>-1,884,200</b>	<b>1,478,267</b>	<b>-</b>	<b>716,224</b>	<b>-</b>

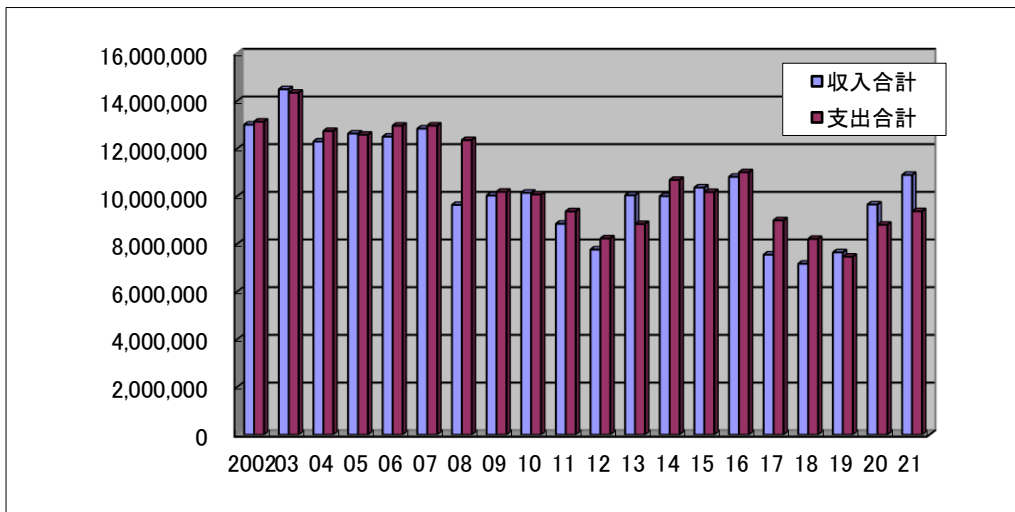
  

なるにわ支出	2021予算	決算	執行率	昨年度決算	昨年度比
人件費	0	0	-	30,000	0%
旅費交通費	40,000	40580	101.5%	40,120	101%
地代家賃	150,000	157000	104.7%	0	
その他販管費	10,000	0	0.0%	990	0%
<b>当期支出合計</b>	<b>200,000</b>	<b>197,580</b>	<b>98.8%</b>	<b>71,110</b>	<b>277.9%</b>
<b>当期収支差額</b>	<b>0</b>	<b>158,668</b>	<b>-</b>	<b>130,992</b>	<b>-</b>

\*なるにわ事業収入には、寄付を含む。

法人全体の収支推移

	売上高	営業外収入	収入合計	支出合計	収支	寄付比率
2002	11,625,200	1,382,089	13,007,289	13,132,075	-124,786	10.6%
03	12,982,600	1,509,144	14,491,744	14,347,855	143,889	10.4%
04	11,598,200	703,518	12,301,718	12,741,039	-439,321	5.7%
05	11,720,000	913,130	12,633,130	12,583,234	49,896	7.2%
06	11,484,000	1,022,868	12,506,868	12,964,130	-457,262	8.2%
07	12,153,300	686,632	12,839,932	12,967,458	-127,526	5.3%
08	9,343,630	297,269	9,640,899	12,360,365	-2,719,466	3.1%
09	9,565,370	469,011	10,034,381	10,189,904	-155,523	4.7%
10	9,401,811	751,297	10,153,108	10,080,590	72,518	7.4%
11	7,564,985	1,284,026	8,849,011	9,372,431	-523,420	14.5%
12	6,275,720	1,493,761	7,769,481	8,236,401	-466,920	19.2%
13	6,625,226	3,420,348	10,045,574	8,840,427	1,205,147	34.0%
14	6,103,410	3,905,091	10,008,501	10,689,391	-680,890	26.5%
15	6,001,569	4,370,624	10,372,193	10,180,277	191,916	26.0%
16	6,823,785	3,996,701	10,820,486	11,009,367	-188,881	21.5%
17	5,782,754	1,772,637	7,555,391	8,994,424	-1,439,033	23.5%
18	5,355,351	1,818,743	7,174,094	8,215,700	-1,041,606	25.4%
19	5,945,200	1,704,833	7,650,033	7,469,259	180,774	22.3%
20	4,029,760	5,626,536	9,656,296	8,808,090	848,206	58.3%
21	4,447,685	6,451,604	10,899,289	9,378,717	1,520,572	59.2%



特定非営利活動法人フォロ 2022年度予算案

収入	予算	昨年度	昨年度比
NPO入会金	10,000	10,000	100%
NPO年会費	180,000	170,000	106%
支援会費	300,000	238,709	126%
寄付金	1,800,000	5,602,715	32%
コロナ関連補助金	-	-	-
フリースクール事業	4,718,200	4,207,800	112%
なるにわ事業	200,000	239,885	83%
当期収入合計	<b>7,208,200</b>	10,469,109	139%

支出	合計	フリースクール	なるにわ	NPO本部	昨年度合計	昨年度比
人件費	5,540,000	5,300,000	0	240,000	5,643,443	98%
通信費	157,000	130,000	7,000	20,000	140,152	112%
旅費交通費	430,000	380,000	50,000		321,750	134%
地代家賃	924,000	852,000	72,000		2,484,400	37%
水道光熱費	150,000	150,000			141,865	106%
その他販管費	170,000	145,000	10,000	15,000	62,639	271%
当期支出合計	7,371,000	6,957,000	139,000	275,000	8,794,249	84%
当期収支差額	-162,800	<b>-438,800</b>	61,000	215,000		

FS収入見込み

会員区分	単価	目標人数	月額	6～3月目標	4、5月実績	21年度予算
A会員	30,800	4	123,200	1,232,000	184800	1,416,800
A会員(6ヶ月割引)	30,000	3	90,000	900,000	60000	960,000
C会員	15,400	8	123,200	1,232,000	277200	1,509,200
親子会員	10,000	1	10,000	100,000	-	100,000
追加券	15,400	1	7,700	46,200	-	46,200
保護者会員	3,000	18	54,000	540,000	96000	636,000
体験入会	5,000	10				50000
入会	0	5				0
合計				4,050,200	618,000	<b>4,718,200</b>